



MAAIIRO

一般社団法人あきの会 虹の家 2017 SPRING VOL.9



Content
 ■ 新年度挨拶

■ 新入職員紹介
 ■ 入職式

■ ベストスマイル
 ■ 研修会

■ 人に助けを求めること
 ■ 行事予定

平成29年度を迎えて

一般社団法人あきの会は、3回目の新年度を迎えました。平成28年度は、当法人の目的である「障がい者の地域生活支援」に向けた、飛躍の一年となりました。その一つの柱は、就労部門です。昨年8月に「みかんの樹」を開設し、現在「虹の家」「みかんの樹」で働く障がい者の数は40名を超え、多くの働く場の提供をできるようになりました。もう一つの柱は、医療型短期入所です。昨年度、医療型短期入所受け入れ改善の目的で「在宅支援部」を立ち上げた結果、実利用登録数が現在約100名となり、その利用数も飛躍的に増えております。日頃のレスパイトだけでなく、ご家族の急や病気への対応や長期間の短期利用などご家族及びご本人のニーズに合わせた短期入所利用を実現できるようになりました。

まだまだ、解決すべき課題もありますが、平成29年度はさらに「障がい者の地域生活支援」に貢献できる施設、そして質の高い医療・福祉の提供を目指し、職員一丸となって精進したいと思います。今年度も、当法人をよろしくお願い申し上げます。

平成29年度新入職員紹介 新社会人



看護師

まつお だいち
松尾 大地

星座:しし座 血液型:O型
下関看護リハビリテーション学校
卒業
マイブーム:ツーリング



看護師

さ さ き しゅん
佐々木 駿

星座:かに座 血液型:A型
下関看護リハビリテーション学校卒業
マイブーム:お酒を飲んで記憶をなくす



理学療法士

かわべ せいじ
川邊 誠司

星座:ふたご座 血液型:A型
小倉リハビリテーション学院卒業
マイブーム:自然の中を散歩する



理学療法士

おおうちだ しゅん
大内田 旬

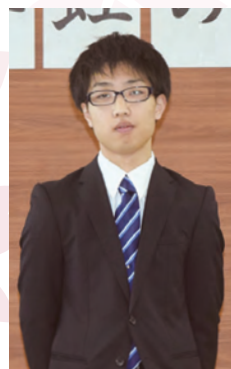
星座:しし座 血液型:A型
福岡和白リハビリテーション学院
卒業
マイブーム:お酒を飲む



作業療法士

まつい まお
松井 真央

星座:さそり座 血液型:A型
麻生リハビリテーション大学卒業
マイブーム:猫カフェ巡り



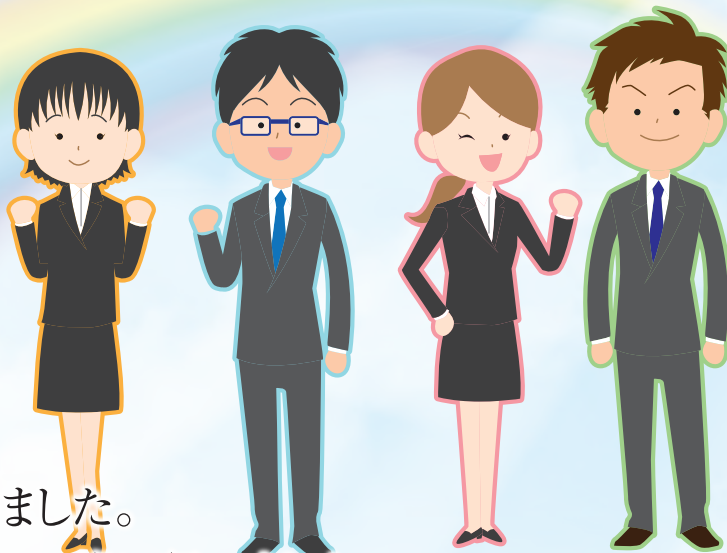
社会福祉士

すえなが けいと
末永 啓人

星座:やぎ座 血液型:O型
麻生医療福祉専門学校
マイブーム:シーバス釣り

入職式

平成29年4月1日



新入職員の入職式を行いました。
就労A型の方も職員なので一緒に行いました。
保護者の皆さん、特別支援学校の先生も参加していただきました。



集合写真



辞令交付



歓迎の言葉

BEST SMILE

ベストスマイル

虹のシャニーズ



ひな祭り

7段飾りを贈呈いただきました。

地域移行～お買い物体験編～



地域移行～外食体験編～

あきの会
成人式

平成29年新成人を初代会



「寿きもの学院」の先生にボランティアで着物の着付けをしていただきました

笑顔 MVP



ささやかな宴も
開催しました!!



クリスマス会



第39回 平成29年3月4日(土) かごしま県民交流センター
虹の家の取り組みをリハビリの押条副主任が発表してきました。

九州地区重症心身障害研究会報告

演題名

長く地域生活を送るための支援としての有期限入所の取り組み

3か月程度の有期限入所を利用してご家族ご本人の精神的・身体的安定をもたらし、その後の在宅生活が安心して送れるようになった3名の利用者さんの報告と、有期限入所の果たした役割をまとめ発表しました。

なんと!!

優秀発表賞

を頂きました。



改めて、虹の家の取り組みが間違っていないことを確信しました!!

参加して、色々刺激になりました。これからもっと良いサービスができるよう頑張ります!!

研修のポイント

バイタルサインは重症心身障害児者の伝える手段
「いつもと違う」を見つける力
彼らの言葉なき言葉に耳を澄まし、心に寄り添い、実践・行動する

虹の家職員研修プログラム

- 虹の家では、平成28年10月から職員研修プログラムを開始しました。初任者研修として重症心身障害児者のケアについて、毎月決められたテーマで職員研修を行っています。12回の研修に参加した職員には、初任者研修修了書が与えられます。
- 今回のテーマは「重症心身障害児者の接遇」です。講師は荻原看護師。長年の臨床経験があり、聞いているスタッフの心に響く研修でした。

生活介護と短期入所をご利用の松本様より

この半年間、本人にとって変化に戸惑った事でしょうが、虹の家の職員の方々の本人に寄り添った温かいご配慮のおかげを頂き、いつもいい笑顔で帰宅することに安堵し感謝している次第です。

人に助けを求めることは、その人に迷惑をかけることではなく、幸せを与える行為です。

私は、中東ヨルダンで妻を亡くした。9月6日に長男の千汪(せお)が生まれ、その翌日、大量出血で亡くなった。計り知れない精神的ダメージを被りながら、私は、3500gの新たな生命の存続を託された。妻の母乳に頼るつもりだったので、粉ミルクの作り方すら知らなかった。

まず、生後5か月の赤ちゃんのいるイギリス人の友人夫婦に電話をかけ、そこに泊めてもらい、要らなくなった赤ちゃんグッズをもらい、粉ミルクの作り方などを教えてもらった。そして、小さな子供のいる日本人の友人に電話をし「私のアパートに行って、赤ちゃんグッズが全てあるか確認し、ないものを買い揃えてもらえますか?」とお願いをした。

その友人が「**わかった。ありがとう**」と言ったのだ。私は一瞬、自分の耳を疑った。なぜ、頼みごとをしている私が感謝されるのだろう。

次の日、日本の母と姉がやってきた。無論、千汪がいるため、私は空港へ迎えに行くことはできない。別の日本の友人にお願いしたら、再び「**ありがとうございます!嬉しいです!**」と言うのだ。私は迷惑をかけているはずなのに、なぜ感謝されなければならないのだろう。

その友人に聞くと、「**こういう時って、どう声をかけたらいいのかもわからないじゃないですか。でも、何か役に立ちたい。だけど、どうしたらいいのかわからない。そんな時に具体的なお願いをされたから【ああ、今、黒岩さんはこういう支援**

が必要なんだ】ってわかって、嬉しかったです」と言う。

「**迷惑をかけるな」「他人様の時間を無駄にするな**」そういう考えに縛られてきた社会で育った私にとって、人に助けを求めることが、**喜びを与える行為になり得ることが、とても新鮮だった。**

妻は国連職員で、妻の配偶者としてヨルダンにいた私は、新潟の実家へ戻ることにした。しかし、妻の葬儀や引っ越しの準備や病院とのやり取りなどのため、1ヶ月以上、ヨルダンで千汪と過ごさなければならなかった。新生児を抱えながら、様々な諸手続きを一人ですべてやることは、精神的にも肉体的にも不可能だ。

私はフェイスブックで呼びかけた。

「私が日本へ立つまでの間、どなたか、ヨルダンに来て、住み込みで育児支援をしていただけませんか?ベビーシッターを雇うより、私の友人に世話をしてもらったほうが、妻も喜ぶと思います。」

数日以内に、10人もの友人から承諾を得た。アメリカ、スイス、オランダ、タイ、フランス、アゼルバイジャン、インドネシアから、それぞれリレー方式で友人が住み込み、育児と家事を手伝ってくれた。そして、彼らは口を揃えてこういった。「**ここに来て幸せ**」と。

最も印象的だったのは、友人の一人の「**ヨルダンでの葬儀**

この言葉は、虹の家と交流いただいている黒岩ご夫婦(新潟県で在宅医療や高齢者・障害者の福祉を実践されています)の息子さんである黒岩揺光さんの言葉です。とても大切なことだと思い感銘を受けました。少し長くなりますが、全文を掲載させていただきます。



に行くことも考えたけど、葬儀で揺光と話す時間なんてないだろう。だったら、自分たちが一番必要とされている時にヨルダンに行こうと思った」という言葉。

ヨルダンに友人も「何かできないか」メッセージを沢山いただき、私は「時間があればレストランから料理をテイクアウトして家に持ってきて、私と一緒に食べて下さい」とお願いした。そしたら、毎晩のように、誰かが料理を持ってきてくれた。

妻がなくなって3か月たつが、まだ一晩も、一つ屋根の下で千汪と二人だけで過ごしたことはない。

いまだに、一人で車を運転中に突然、涙が吹き出てきたりするが、ほとんどの時間、誰かが傍にいてくれるおかげで、何とか持ち直すことができている。ヨルダンから日本へ飛ぶ時も、母と友人が付き添ってくれ、千汪も私も、これまで一度も体調を崩していない。

「これだけ多くの方がヨルダンに来たのは、二人の人柄あったことだよ」と沢山の人から言われた。確かにそれも一因なのかも知れないが、私は、もっと大事な要因が二つあると思う。

第一に、**人間関係の濃密度や人柄とは全く別の次元で、人間の情けは突き動かされることがある。実際、駆けつけてくれた友人の中には、プライベートで数回お会いしただけの人もいた。「私も出産のとき、大変な思いをしたから、どうしても何かしたかった」と、10か月の息子をアゼルバイジャ**

ンに残し、ヨルダンに来てくれた友人は言った。第二に、**私が明確なSOSを発信したことだ。いくら私たちの人柄がよくても、私がどんな支援を必要としているのか伝えない限り、助けを得ることは難しい。**

だから、皆さんにお伝えしたい。

困った時、「私を助けてくれる友人などいない」と決めつけず、「**こうしてほしい**」という具体的なSOSを出し続けて下さい。たった一度しかお会いしていない方が、あなたのメッセージに突き動かされ、救世主となって現れる可能性は十分にある。

勿論、中には「**そんなことぐらい自分でやれよ**」と冷やかな目を向ける人もいるかもしれないけど、**100人に発信して一人でも助けの手を差し伸べてくれるなら、それはあなたにとってだけでなく、相手にとっても、とても大きな財産になり得る。**

多くの人が、SOSを出せない中、なぜ私は出せたのか?それは千汪がいてくれたということに尽きる。彼を守るためには、どうすれば良いのかを第一に考え、そのためには、まず自分が健康でいなくてはいけないと言いつけた。妻が、命を懸けて残してくれた最高のプレゼントのおかげで、人生最大の危機を私は生き延びることができた。妻から学ばせてもらったことを、一人でも多くの人に伝え続け、天国にいる妻を少しでも喜ばすことができたらと思う。



NANAIRO INFORMATION

行事予定・お知らせ



虹の家

■ **外来診療** 4月から毎週火曜日午後・水曜日
小児外来を行います。
(九州大学病院派遣小児科医)

.....

■ **行事予定**
5月25日(木) 運動会
7月8日(土) 夏祭り

みかんの樹

■ **行事予定**
■ **5月20日(土) 親子パン教室**
(原上地区の小学生対象)
8月には1周年記念イベントを予定しています。

■ **就労部武雄温泉ツアー**
年2回 自立訓練を兼ね佐賀県武雄市にある道の家
での宿泊体験を計画しています。



一般社団法人 あきの会
療養介護事業所

虹の家

TEL 092-651-7325

〒812-0044 福岡市博多区千代一丁目15番10号

FAX 092-409-7570 HP <http://akinokai.jp>

一般社団法人 あきの会

みかんの樹

TEL 092-962-0585

〒812-0101 福岡県粕屋郡新宮町原上1223-4

FAX 092-962-0527 MAIL mikannoki@akinokai.jp